

授業科目名 (英文名)	Writing 2 英語W 2 (K 2)	科目区分 対象学生	
単位数	1.00	開講年次・ 学期	1年次・後期
担当教員	内山 知美	所属	非常勤講師
オフィス・場所		連絡先	
講義目的及び到達目標	<p>1) 日常的な社会活動において必要となる英語文を正しく書くことができる 2) 様々な場面における英文を書くための語彙や文法を習得している 3) 英文の文章構成法を理解し応用することができる</p>		
講義内容・授業計画	<p>英文のパラグラフ構造を習得し、パラグラフを効果的に構成する方法を学習し、正確に意見を表現できるスキルを向上させる。与えられた課題を着実にこなすことが求められる。</p> <p>1. Introduction 2. Chapter 1 Writing Process & Prewriting Stage 3. Chapter 2 Paragraph Organization 4. Chapter 3 Describe Your Personality 5. Chapter 4 Revision : Describe Your Personality 6. Chapter 5 Contrasting Two Countries 7. Chapter 6 Revision : Contrasting Two Countries 8. Chapter 7 Analyzing Reasons & Results 9. Chapter 8 Revision : Analyzing Reasons & Results 10. Chapter 9 Giving Suggestion 11. Entertainment 12. Chapter 10 Revision : Giving Suggestion 13. Chapter 11 Stating Your Opinion 14. Chapter 12 Revision : Stating Your Opinion 15. Review</p>		
テキスト	A Guide with Models for Process Writing / 『モデルで学ぶプロセス・ライティング入門』 松柏社		
参考文献			
成績評価の基準・方法	<p>日常的な社会活動において必要となる英語文を正しく書くことが出来、英文の構成法を習得しているものに単位を授与する。 講義目的・到達目標に記載する能力の到達度に応じて、S からC まで成績を与える。 レポート・小テストなどによる平常点40%、試験60%を基準として、受講態度を含めて総合的に評価する。</p>		
履修上の注意・履修要件	<p>延着証明書、診断書（領収書も可）の提出、提示のない欠席、（出席を確認する課題の未提出）は4回まで。</p> <p>当授業は、原則全ての授業を対面で実施する予定ですが、履修者人数によっては、新型コロナウイルス感染症対策として、履修者を複数の教室に分けて教室間をオンラインで繋ぐ方法や、対面授業と自宅でのオンライン授業を隔週実施する方法とする場合があります。自宅等でオンライン授業の受講を視聴できる通信環境(PC・タブレット等の端末やWi-Fi環境)が必要となる場合があります。 最終的な授業方法は履修登録後に決定・連絡します。</p>		
実践的教育	該当しない		
備考			